



ニュースリリース

2017年1月31日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

## 「広島県芦田川流域下水道芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業」の 竣工と運営開始について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社(代表取締役社長 藤原 真一、以下、当社)を代表企業とする共同事業体(注1)は、広島県から受注した「広島県芦田川流域下水道芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業」(以下、本事業)において建設工事を進めて参りましたが、このたび竣工し、今月より運営を開始いたしました。

本事業は、広島県下で発生する下水汚泥を従来の焼却処理から、乾燥させ固形燃料化物(以下、ペレット)として資源化し、バイオマス燃料として有効利用するものです。本事業で採用された当社の下水汚泥固形燃料化システム(以下、ジェイコンビ)は、汚泥の有機分ほぼ全てを回収することができる燃料変換率が高い造粒乾燥方式を用い、ペレット利用先での温室効果ガス削減も高いことに特長があります。また、芦田川浄化センター内で発生するカーボンニュートラルな消化ガスを燃料化システムの乾燥熱源として活用することにより、ペレット製造中の温室効果ガスも大幅に削減しています。

運営にあたり、当社は共同事業体の構成員とともに本事業の維持管理・運営を行う特別目的会社「広島芦田川ジェイコンビシステム株式会社」を設立いたしました。運営期間は20年間を予定し、製造したペレットは石炭代替燃料等として混焼利用する計画です。

ジェイコンビの納入実績は、新庄市・福島市・北九州市に次いで4件目となり、施設の設計、建設、運営・維持管理を一括して受託するDBO方式では、北九州市に続き2件目となります。更に本事業に続き、昨年11月に落札者決定となりました「名古屋市空見スラッジリサイクルセンター下水汚泥固形燃料化事業」が2020年10月より運営を開始する予定です。

当社は、今後とも高まる下水汚泥エネルギー市場のニーズを捕捉し、下水汚泥燃料化事業の拡大に取り組み、循環型社会システムおよび低炭素化社会の実現に貢献して参ります。

### 【施設外観】



(注1) 共同事業体の構成員

代表企業 新日鉄住金エンジニアリング株式会社

日本メンテナンスエンジニアリング株式会社 代表取締役社長 岡原 貢 本社大阪府

株式会社水光エンジニア 代表取締役社長 溝口 奈留紀 本社広島県

【事業の概要】

- 事業名 : 広島県芦田川流域下水道芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業
- 事業場所 : 広島県福山市箕沖町 106 番地 芦田川浄化センター内
- 事業期間 : ①設計・施工 2014年10月4日から2016年12月31日  
②運営 2017年1月1日から2037年3月31日(20年3ヶ月)
- 事業方式 : DBO方式
- 設備内容 : ①処理方式 造粒乾燥方式  
②処理能力 脱水汚泥 72t-wet/日  
③処理量 脱水汚泥 23,800t-wet /年(最大)  
④ペレット生成量 4,570t/年(同上)  
⑤CO2削減量 6,120t-CO2/年(同上)

【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以上